第一号書式（第一条の五関係）（Ａ４）

一級建築士免許申請書（第一面）

［記入注意］　数字は、算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中にレ印を付けてください。

私は、一級建築士の免許を受けたいので、本籍の記載のある住民票の写しを添え、申請します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

年　　月　　日

国土交通大臣
中央指定登録機関
（名　　称）　殿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（自　署）

ふりがな 氏名		生年月日	年　月　日生		写真 １縦4.5cm、横3.5cmの写真の裏面に氏名及び撮影年月日を記入してのりで貼り付けてください。 ２貼付した写真は免許証に転写されます。
本籍		性別	男□　女□		
現住所	〒 電話				
試験	一級建築士試験に合格した年　年				
	合格通知書日付	年　月　日	合格番号	号	
登録申請区分	１　学歴＋実務□　２　二級建築士等＋実務□　３　建築士法第四条第五項□				

１学歴＋実務により申請する場合のみ記入	学校名	学部名・学科名	入学・卒業（修了）年月	建築実務経験期間の合計
			年　月入学 年　月卒業(修了)	年　月
			年　月入学 年　月卒業(修了)	
２二級建築士等＋実務により申請する場合のみ記入	資格名称	都道府県名・登録番号	登録の年月日	二級建築士等としての建築実務経験期間の合計
		号	年　月　日	年　月
３建築士法第四条第五項により申請する場合のみ記入	免許名称	免許者名	免許の年月日	資格認定書の年月日
			年　月　日	年　月　日

第一号書式（第一条の四関係）（Ａ３）

一級建築士免許申請書（第一面）

［記入注意］　数字は、算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中にレ印を付けてください。外国の建築士免許を受けた方は、「試験」の欄に、その免許の名称、免許者名及び免許の年月日を記入してください。

私は、一級建築士の免許を受けたいので、本籍の記載のある住民票の写しを添え、申請します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

年　　月　　日　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（署　名）

国土交通大臣
中央指定登録機関
（名　　称）　殿

ふりがな 氏名		生年月日	昭和 平成　年　月　日生		写真 １縦4.5cm、横3.5cmの写真の裏面に氏名及び撮影年月日を記入してのりではり付けてください。 ２貼付した写真は免許証に転写されます。
本籍		性別	男□　女□		
現住所	〒 電話				
試験	一級建築士試験に合格した時期　年				
	合格証書日付	平成　年　月　日	合格証書番号	第　号	

欠格事由

１　禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。　ある□　ない□
あるときはその罪及び刑＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなつた日　年　月　日

２　建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。　ある□　ない□
あるときはその罪及び刑＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなつた日　年　月　日

３　建築士法第９条第１項第４号又は第10条第１項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。　ある□　ない□
あるときは、その日　年　月　日

４　建築士法第10条第１項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に建築士法第９条第１項第１号の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。　ある□　ない□
業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間　年　月　日から　年　月　日まで

５　精神の機能の障害により一級建築士の業務を適正に行うに当たつて必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない状態ですか。　はい□　いいえ□

※審査	登録免許税	経由庁	写真照合	住民票照合	合格者照合	名簿登録	欠格審査	副申審査	免許証発行	※経由庁記載欄 責任者（職氏名）印

※登録番号		※登録年月日	平成　年　月　日	※都道府県受付番号	